

名古屋女子大学 学報

vol. 115

March

2024.03

NAGOYA WOMEN'S UNIVERSITY
COLLEGE OF NAGOYA WOMEN'S UNIVERSITY

特集 | 免許・資格と学外実習

図書館棟2階 コンピュータ自習室



学園訓「親切」 越原春子 筆

免許・資格と学外実習

本学で取得できる免許・資格の中には学外実習の単位を必要とするものが多くあります。近年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学外実習の実施が一部制限されることもありましたが、今年度は学外実習が本格的に再開され、学生たちは現場体験を積み重ね、実践力を高めています。そこで今号では、免許・資格取得のために必要な学外実習の種類や内容についてご紹介します。

健康科学部 看護学科

看護師／臨地実習



学内での実習前オリエンテーションの風景

看護学科は、「身近に寄り添い、行き届く看護」をめざし、人々の健康の維持・増進、疾病の予防に貢献できる看護師を育てる」という教育方針を掲げ、科学的根拠と感性と倫理観をもった「的確な看護実践力」を備えた看護専門職者の育成を目指しています。

看護における教育方法の一つである「学外実習」は、「基礎看護学実習Ⅰ」（1年次8月）、「地域ふれあい実習」（1年次2月）、「基礎看護学実習Ⅱ」（2年次2月～3月）に始まり、3年次・4年次の各領域実習へと攻められていきます。主な実習先は「学校法人藤田学園藤田医科大学関連病院」「名古屋市立大学関連病院」「公益社団法人日本海員救済会名古屋掖済会病院」「独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院」など52カ所の施設で実習を受け入れていた

ています。加えて、保健師課程を選択した学生は、4年次前期に学校保健（高等学校・中学校）実習と産業保健実習を、後期には行政保健（愛知県内の保健所及び保健センター等）実習を、全12カ所の施設で行っています。

「看護は「実践の科学である」と称され、大学内で講義・演習を学修するのみでは「看護」と成り得ず、対象者に看護を提供してこそ「看護」と成り得るとされています。つまり、学生は対象者と「出会い」、他者の「生」に触れることを通して看護を学んでいくのです。私たちは、他者である対象者と関わる準備として、①臨地実習の心構え、②臨地実習における守秘義務と個人情報保護、③個人情報保護に関連した実習記録の取り扱い、④臨地実習中の災害時の対応、⑤臨地実習中の感染対策

などに関し、実習前教育（オリエンテーション）を計画的に行うことで学外臨地実習に学生を送り出しています。学外実習を重ねていく学生たちの表情には、日々成長の兆しを感じられるようになり、頼もしささえ感じることがあります。

この表情の裏には、多くの学びとともに学生の涙があつたことだと思われまます。一人の学修者として、他者との関わりで悩み、自分自身と向き合わなければならないこともあつたのではないのでしょうか。このような時こそ、自分の経験を自由に話し合い、自分のありかたを他者と自由に表現し合う場が必要であり、実習グループメンバーがその役割を担っていくと信じます。一人の学びではなく協同的な学びとして、相互に助け合いながら臨床の知を深めていくことを願っています。

健康科学部 健康栄養学科

管理栄養士／臨地実習



小学校における臨地実習の様子

管理栄養士養成における臨地実習の目的は、「実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を修得させること」とされています。国家試験受験資格を取得するには、「給食の運営」、「臨床栄養学臨地実習1・2」、「給食経営管理臨地実習」、「公衆栄養学臨地実習」の5科目から4科目(4単位)以上の修得が必要です。

「給食の運営」は栄養士免許取得にも必要な実習であり、小学校や事業所、福祉施設等の集団給食施設において、給食業務に必要な食事計画や調理を含めた給食サービス提供に関する技術を修得します。「臨床栄養学臨地実習」では、病院や介護施設等の医療・保健機関において、傷病者の病態や栄養状態に応じた栄養管理に必要な知識や技能、チーム医療の一員として栄養ケアプランを実践するプロセスや多職種と連携するためのコミュニケーション能力について学びます。「給食経営管理臨地実習」では、病院や事業所、福祉施設などにおいて、栄養面、安全面、経済面全般の総合的なマネジメントについて学びます。保健所や保健センターにおける「公衆栄養学臨地実習」では、地域における健康・栄養問題に関する情報を収集・分析し、対象者に応じた適切な栄養関連サービスに関するプログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントする能力を養います。

学内では2年後期から3年後期にかけて「臨地実習事前事後演習1・2」を開講し、学科教員による事前教育のほか、実習先でご指導をいただく管理栄養士の先生方による講演会等を通じて、実習の目的や意義について理解を深めます。さらに事後演習では、各々の実習で学んだ内容の報告、情報交換を行います。学生自身で主体的に課題を捉え、改善する行動力・思考力を身に付け、卒業後には様々な実践の場で活躍できる管理栄養士の能力を養います。

医療科学部 理学療法学科

理学療法士／臨床実習



臨床実習に臨む前段階として、客観的臨床能力試験(OSCE)に臨む学生の姿

理学療法学科を卒業すると、理学療法士の国家試験受験資格が得られます。そのため、理学療法学科のカリキュラムは、文部科学省の認可に加えて、厚生労働省の定める指定規則に則る必要があります。その中で、特に、臨床実習が定められており、学生はそれぞれ別の臨床実習施設に赴いて、必要時間数の臨床実習を行うこととなります。

本理学療法学科のカリキュラムでは、各学年にそれぞれの学習段階に合わせた臨床実習が行われます。まず、1年生では、「見学実習」(1週間)があり、学生は病院や施設へ赴き、理学療法業務の

理解や患者様とのコミュニケーションを学びます。2年生では、「理学療法評価学実習」(4週間)があり、初めて患者様の身体に触れ、筋力、関節可動域、血圧など、具体的な検査項目の実施を体験します。また、3年生の「総合臨床実習Ⅰ」(6週間)、4年生の「総合臨床実習Ⅱ」(8週間)が組まれています。この総合臨床実習は期間も長く、学生とはいえ、病院スタッフの一員として患者様に関わり、その患者様の問題点の把握から、目標設定、治療プログラム立案に至る一連の理学療法について学ぶ機会となります。また、4年生には、「地域理学療法臨床実習」(1週間)もあり、この実習では、病院ではなく居宅介護施設や在宅リハビリなど、いわゆる地域リハビリテーションの中に位置付けられた理学療法を学びます。

このように、1年生から4年生へとステップアップする中で、各段階での臨床実習が組まれておりますが、各実習に赴く際に、学生を現場に出して良いか否かの判断をする試験を行います。実技試験(客観的臨床能力試験・OSCE)と筆記試験があり、これに合格することで、臨床実習の現場に出る、いわば仮免許が発行されるイメージです。学生たちは、臨床実習に出る前に、まずこの試験に臨み、適度な緊張感を味わいながら、目的意識を持って臨床実習に出ることができ(写真参照)。

医療科学部 作業療法学科

作業療法士／臨床実習

作業療法士の国家資格を取得するため臨床実習は必須です。臨床実習において学生は、実習先の臨床実習指導者のもと、実際の治療に参加して作業療法を学びます。本学科では、世界作業療法士連盟の定める国際的な基準に沿って4年間で1,000時間の臨床実習を行います。また、実習先には、身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害といった様々な領域の施設があり、そのほとんどは東海三県の通学圏内に所在しています。

臨床実習の4年間のスケジュールは、学生が学んだ知識などの学修状況により段階づけされています。本学科では、1年生で1週間の見学実習（見学を中心と



客観的臨床能力試験 (OSCE)による基本的な医療面接技能の確認

した実習)、2年生で2週間の地域実習（訪問・通所リハビリテーション施設での実習）、3年生で6週間の評価実習（治療前の診断等を中心とした実習）、4年生で8週間2回の総合実習（治療を含めた実習）を行います。実習期間中は、実り多い実習となるよう臨床実習指導者と大学教員が連携して学生をサポートします。

また、実習前には、より充実した実習経験を得られるように学内で様々な取り組みを行います。マナーや挨拶などの社会スキルを確認するガイダンスや、臨床現場で働いているセラピストを招いた研修会、実習で必要な知識や技術を確認する客観的臨床能力試験 (OSCE) などです（写真）。加えて、実習後には、臨床実習で得た経験を技能として定着させるため、学んだ事柄を整理し発表する実習後報告会を行います。

臨床実習を経て、学生の皆さんは少しずつ逞しくなり、専門職としての知識や技術、自覚を身に付けていきます。その成長には目を見張ることも度々です。学生だからこそその強みを活かして対象者に貢献できることも沢山あります。対象者のために何ができるか精一杯考えることが、自分の成長にとっても、目の前の対象者にとっても大切である、との気持ちを持って臨床実習に臨んでほしいと思っています。

家政学部 生活環境学科

家庭科教諭／中・高等教育実習

家政学部では、教職課程の履修は学生の自由選択です。3年次に介護等体験（5日間を施設で、2日間を特別支援学校で体験）、4年次春に教育実習を行います。介護等体験は中学校の教員免許取得に必要ですが、ほとんど中高の両者全員が行いました。教育実習は、中学校ないし高校で行います。高校免許のみ場合は2週間（10日以上）、中学校・高校両免許の場合は3週間（15日以上）です。

教育実習に行くためには、科目「教育実習指導」を3・4年生の2年間かけて履修し、教育実習の意義、心構え、実習



中学校家庭科教科書と学生作成の学習指導案(目的に応じた衣服の選択)

計画、実習日誌の書き方等々を事前に学び、事後には振り返りを行い、教育実習報告会を先輩に向けて行います。家庭科の模擬授業は、教科教育法の授業でも頻繁に実施され、家庭科の各分野について、学生は入念に準備をしています。それぞれの分野の専門の教員が教える家政学部の強みが、教育実習でも発揮されていると言えるでしょう。

教育実習では、教科指導と生徒指導が2本の柱となりますが、中高の家庭科の授業時間は週1〜2時間と少ないので、その点からも、学生の授業にかける意気込みや準備は相当なものです。クイズを取り入れてみたり、ボタン付け等の動画を撮ったり、プレゼンテーションを工夫したりしています。道徳科の授業も担当することが多く、特別支援学級の家庭科の授業を担当させていただいた学生もいます。アイコン掛けを安全に配慮し、細心の注意で教えたそうです。

家庭科は実習実技を伴って、生徒と近い距離で接することが多く、また日常生活ですぐに役立つ知識や技術が生徒たちの達成感にも繋がるので、生徒指導にも生かせるはずだというのが学生たちの意見です。実習校で好評を頂いているのは、この優しさと全力を尽くすまじめさ故でしょう。家庭科教員として活躍中のOGを目標に、後に続く先輩たちは頑張っています。

文学部 児童教育学科

中学校教諭／中学校教育実習、小学校教諭／小学校教育実習
幼稚園教諭／幼稚園教育実習、保育士／保育所・施設実習

児童教育学科で取得できる免許・資格は、中学校教諭(国語)、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士で、それぞれ「中学校教育実習」「小学校教育実習」「幼稚園教育実習」「保育実習(保育所実習および施設実習)」が必修となります。また実習という名目ではありませんが、小学校と中学校の免許取得には、7日間の「介護等体験」が義務づけられています。

児童教育学科の学生は主に2種類の免許・資格の取得を目指しており、実習時期は免許・資格の組合せによって、また実習先の自治体によって異なります。令和5年度の場合、幼稚園免許と保育士資格を目指す学生は、2年次の春休みに1度



幼稚園での実習

目の保育所実習(2週間)、3年次夏休み
に2度目の保育所実習(2週間)、3年次
後期に幼稚園実習(3週間)と施設実習
(約10日間)を行います。小学校と幼稚園
の教員免許取得を志す学生は、3年次前
期に幼稚園実習(2週間)、3年次後期
または4年次前期に小学校実習(3週間)
を行います。小学校と中学校の教員免許
を希望する学生には、3年次後期または
4年次前期に小学校実習(3週間)、3年
次後期または4年次後期に中学校実習
(3週間)があります。介護等体験は2年
次後期に実施されます。

コロナ禍の影響でここ数年は実習時期
の大幅な変更があったり、実習の一部を学
内演習に置き換えたりすることもあり
ましたが、昨年度から通常の実習形態に
戻りつつあります。

実習の目的は、教育・保育の現場での経
験的な学びを通して、①それぞれの教育・
保育機関の役割や教育者・保育者の責務
を理解すること、②教育者・保育者に求め
られる実践的な知識と技術を体得する
こと、③教育者・保育者としての資質を身
につけることにあります。実習前には模擬
授業や模擬保育で実践に向けた準備を
重ねますが、子どもたちと直接向き合
う経験は、机上の学修だけでは得られ
ない貴重な学びを学生にもたらしませ
てくださる学校や園には深く感謝申し上げま

短期大学部 保育学科

幼稚園教諭／幼稚園教育実習
保育士／保育所・施設実習

短期大学部保育学科では、保育士資格
と幼稚園教諭二種免許状が取得できま
す。そのため、第一部1年第三部2年の2月
に「保育実習1A(保育所)」(2週間)、
第一部2年第三部3年の5～6月に「教
育実習(幼稚園)」(4週間)、7～12月に
「保育実習1B(施設)」(宿泊は10日間、
通いは12日間)、8～9月に「保育実習2
(保育所)」(2週間)の計4回の校外実習
を行います。保育所・幼稚園の実習には、
認定こども園も含まれます。

「保育実習1A」は最初の校外実習の
ため、事前・事後指導では、基本的な生活
態度やマナーをはじめ、既習の教科目の



授業内風景

内容を統合しながら、実習計画の立案、
実習記録や指導案の書き方、模擬保育など
実践的な方法で修得していきます。

「教育実習」では、幼稚園教諭の職務
内容や役割を修得します。他の実習と
比べて期間が長いいため、クラス運営に深く
関わることができ、幼児の成長をより実感
することができます。実習園の教育方針
を理解した上で、子どもたちの主体的な
活動を展開することができるよう、事前
指導では、指導計画の準備・検討に特に力
を入れています。

「保育実習1B」は、多くの学生が当初
は不安を感じていますが、徐々に意欲が
高まるよう施設見学や現場で働く卒業生
の講演など、工夫を凝らして授業を展開
しています。本実習では、難しい入所児との
関わりや今まで関わったことのない障害の
ある方への援助を通して、保育者としてだ
けでなく学生自身の自己理解への深まり
につながる経験を積みまます。

「保育実習2」では、今までの実習経験
を振り返りながら自己課題を明確にし、
卒業後の仕事を見据えた実践的な実習
に取り組みます。本実習は、就職活動の
時期と重なり、期待とともに不安も高まる
頃です。そのため、事前・事後指導でクラ
スマイトと対話する機会を繰り返し設け、
不安や悩みの共有のみではなく、互いの成
長や努力を認め合い、保育職に就くこと
への期待を高める指導を行っています。

文学部の名称変更について

名 古屋女子大学は、令和6年4月から、文学部の学部名称を「児童教育学部(児童教育学科)」に変更いたします。学部の名称は変更となりますが、教育目的、学部・学科のポリシー(ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー)、教育課程および卒業要件は基本的に変更ありません。また、授与する学位「学士(児童教育学)」の変更もありません。免許・資格についても従来通り、学生の希望に応じて教員免許状(幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(国語))、および保育士資格の取得が可能です。

なお、現在在学している令和5年度以前の入学者は、入学時の学部名称「文学部(児童教育学科)」で変更はありません。

オープンカレッジ「予防医学とメディカルピラティス講座」開設



2人1組となって姿勢のチェック



いろいろなエクササイズを組み合わせ、姿勢改善を目指します

オ ープンカレッジで初めてのピラティス講座は「予防医学」に焦点を当て、11月から12月にかけて、全3回実施されました。ピラティスとは、ドイツ人のジョセフ・ピラティス氏が提唱した身体調整メソッドで、姿勢改善、体幹部強化に焦点を当てたエクササイズです。メディカルピラティスは、ピラティスの基本的な考え方に医学的な原則やリハビリテーションの観点を組み合わせたもので、医療専門家や理学療法士の指示に基づいてプログラムが設計され、様々な不調や機能改善に役立ちます。本学の医療科学部にはリハビリテーションを学ぶ学生が多く在籍し、メディカルピラティスへの関心も高く、基本的なエクササイズから姿勢の改善、慢性痛の予防・改善まで、多くの学生や一般の方が参加して活気のある講座となりました。

名古屋女子大学高等学校

全日本新体操選手権大会
個人総合優勝 優勝報告会

記念品を手にする鶴田さん(中央)と越原学園長、小菅校長

10 月27日より開催された第76回全日本新体操選手権大会で、名古屋女子大学高等学校2年の鶴田芽生さんが個人総合初優勝を果たしました。全日本選手権は各全国大会を勝ち抜いた日本のトップ選手のみが出場できる憧れの舞台であり、16歳の若さで個人総合優勝の快挙を成し遂げました。11月15日、鶴田さんは小菅校長とともに越原もゆる学園長へ優勝報告を行い、越原学園長からはお祝いの言葉と記念品が贈られました。

越原記念館

瑞穂図書館主催講演会に
越原記念館が協力

講演会風景 手話通訳と要約筆記導入

12 月23日、瑞穂図書館企画に協力し、講演会「山崎川周辺いまむかし～越原記念館の資料から～」を同図書館で実施しました。学園周辺には山崎川と深く関わる「桜」や「塩」の道があり、また江戸時代からのため池が埋め立てられゴルフ場となり今はグラウンドや住宅街になっている変化を、本学園が東区葵町から現在の地に移転した昭和10年前後の写真とともに紹介しました。郷土の歴史に関心の高い方々が定員を超え46名参加されました。

越原記念館

企画展「故きを温ね食と健康を
科学する」授業見学

授業「ライフステージと食事」での見学風景

こ の企画展では「食と健康」に焦点を当て、健康科学部と医療科学部における医療・看護、口腔機能、栄養・調理、リハビリテーション・健康増進の11科目から科学的視点に立って発信性の高い内容と成果をパネルで紹介するとともに、これらの学びに関連する学園所蔵資料を展示し、移り変わる時代相の対比を試みました。学生たちは12の授業とゼミで展示見学し、それぞれの学びに深く関連する資料や事柄の解説を受けました。

家政学部

令和6年度 家庭科教員採用試験結果



2年生の発表にアドバイスをする4年生教職メンバー

魅 力的な資格が多々取得できる家政学部で、家庭科教員は、学んだことをすべて活かせる仕事であり、多くのOGが活躍中です。今年度は、14名が家庭科教員免許状取得予定で、うち3名が教員を第一志望としていました。1名が愛知県と他自治体の2つに合格し、1名は1自治体で3年期限付(期限なしと同待遇)合格、1名は岐阜大学の教職大学院に合格しました。難関でも最大限のサポートで夢を叶えます。(渡部容子教授)

文学部 児童教育学科

令和6年度 小学校・中学校教員採用試験結果、公務員保育職採用試験結果

教 育・保育は未来の宝物である子どもたちの育成を目指し、学校(園)、家庭、地域が取り組んでいくものです。また今、園児・児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を支える教員・保育者の養成を行う大学も、その在り方が大きく問われています。児童教育学科では日々の授業改善に加え、学生の自主学習支援にも力を入れ、教育・保育者として必要とされる資質・能力を身に付けた人材の育成に全力を

令和6年度採用試験の結果について

児童教育学専攻
【小学校・中学校教員採用試験結果】
合格者数**41**名(受験者数56名)
合格率**73.2%**

| 都道府県 | 合格人数 |
|-----------|------|
| 愛知県 | 20名 |
| 名古屋市 | 2名 |
| 三重県 | 4名 |
| 岐阜県 | 3名 |
| 静岡県 | 1名 |
| 長野県 | 2名 |
| 川崎市 | 23名 |
| 横浜市 | 4名 |
| 福岡市 | 1名 |
| 合計(延べ合格数) | 60名 |

幼児保育学専攻
【公務員保育職採用試験結果】
合格者数**61**名(受験者数66名)
合格率**92.4%**

| 都道府県 | 合格人数 |
|------|------|
| 愛知県 | 60名 |
| 名古屋市 | 2名 |
| 三重県 | 6名 |
| 岐阜県 | 2名 |
| 静岡県 | 3名 |
| 合計 | 73名 |

注いでいます。その結果、小学校・中学校教員採用試験では56名が受験し、73.2%に当たる41名の学生が合格しました。小中教育コースでは、中学校国語科での合格者を出すことができました。さらに本年度、長野県の公立学校教員採用試験においても合格者を出すことができました。また、公務員保育職採用試験の合格率は、昨年度を大きく上回り92.4%に達しています。本年度の成果を踏まえ、今後も伝統を守り、多くの有能な教育・保育者を社会に送り出すことができるよう、さらに指導・支援をしてまいります。(竹内正裕教授)

受賞

第57回 日本作業療法学会 優秀演題賞

山鹿隆義 准教授・池谷政直 助教
(医療科学部)

『統』 合失調症患者の精神症状に対する作業療法の効果:メタアナリシス』により受賞しました。この栄誉を心からお慶び申し上げます。

受賞

第9回 日本糖尿病理学療法学会 学術大会優秀賞

玉木 徹 講師(医療科学部)

『末』 梢神経損傷後の機能回復に対する糖尿病と運動療法の効果』により受賞しました。この栄誉を心からお慶び申し上げます。

総合科学研究所

瑞穂区役所共催イベント 「子どもと朝ごはん 瑞穂区ナンバー1決定戦! 2023」開催



最終審査会の様子。参加者同士での試食も行いました



グランプリの他、「瑞穂区制80周年記念賞」も選ばれました

名 古屋女子大学総合科学研究所と瑞穂区役所の共催企画「子どもと朝ごはん 瑞穂区ナンバー1決定戦! 2023」が開催され、9月24日に大学の調理室で最終審査会が行われました。「野菜をつかった朝食」をテーマに、瑞穂区在住の子育て世帯の他、家政学部生活環境学科、健康科学部健康栄養学科、短期大学部生活学科の学生が作成したレシピも入賞しました。本企画は地域の子育て世帯の応援を目的としたもので、学生からは、栄養や彩りはもちろん調理の簡単さ、子どもの食べやすさや好み等、忙しい子育て世帯の朝を想定した工夫がこらされたレシピが提案されました。また希望者には区の託児スタッフによる託児が行われ、本学文学部児童教育学科、短期大学部保育学科の学生もボランティアとして協力しました。(上の二次元バーコードのサイトに入賞レシピを公開しています)

医療科学部 作業療法学科

「名古屋市高齢者はつつ長寿推進事業(コスモス)」に学生が参加



完成した作品を手にとりこり!

作業療法学科では、2年生が「地域作業療法学演習」の一環として、瑞穂区の一般介護予防事業(コスモス)に参加しました。2グループに分かれ、制作活動(セラバンド入れ作り)又はレクリエーション(棒サッカー)を参加者の方々と共に行いました。地域の高齢者の方々とふれあいを通して、地域リハビリテーションの実際と、対象者に合わせたコミュニケーションの仕方を学ぶことができました。(山下英美講師)

医療科学部 理学療法学科・作業療法学科

豊田地域医療センターへの施設見学



小型モビリティ体験



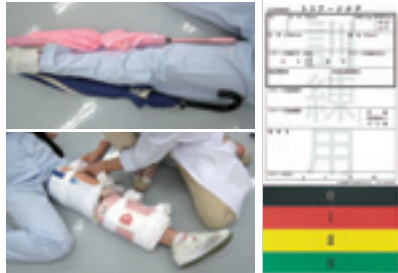
貴重な施設見学を終えて充実した笑顔

8月28日・30日に理学療法学科・作業療法学科2年生の有志18名が、豊田地域医療センター地域リハビリテーションセンター(令和3年11月開設)の見学を実施しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、1年次に行えなかった施設見学の機会をいただき、臨場見学実習時とは異なり、グループで見学しました。実際の病院でのリハビリテーション室の見学をはじめ、「ロボティクススマートルーム」では自宅を模したスペースで、レール走行式リフト等先進技術を取り入れた機器の見学や体験をしました。さらに、「モビリティトライアルルーム」では座位や立位で使用できる小型モビリティ等最新の機器や自動車運転シミュレーターの操作等を体験でき、高齢者や不自由を感じている方々に優しい環境提供を考える貴重な体験ができました。(渡邊潤子講師)

健康科学部 看護学科

学部・学科間連携科目 「災害看護論」

身近なものを使用した骨折時の固定



災害時の処置方法を体験 訓練用トリアージダグ

災害には、静穏期、超急性期、急性期、亜急性期、復旧復興期といったサイクルがあります。「災害看護論」では、その各段階で各専門職者がどのような役割を担うのかなど自ら考える機会となるように講義をしています。また、講義のほかトリアージ体験、身近なものを応用した骨折やけがをした傷病者への処置の方法などを取り入れて体験することで、「自分のできることを考えられるように指導しています。(粕谷恵美子教授)

健康科学部 看護学科

「健康科学特論」福祉国家デンマークの教育制度と福祉制度の講演



日欧文化交流学院(2005年よりノーフェンスホイスコーレに改名)

デンマークの学院ノーフェンスホイスコーレ設立者の千葉忠夫氏は、デンマークで社会福祉を学び、日本を「住みよい幸せな国」にしたいと啓発活動を行っています。看護学科4年生は、「健康科学特論」の中で千葉先生の講義を受け、「障害をもつ人も認知症の人も、老いて体が不自由な人も、みんな人間らしく生きる。それを支えるのが福祉、人々の連帯、そして愛なのだ」という千葉先生の神髄に触れました。(竹田千佐子教授)

健康科学部 健康栄養学科

「『食育レシポコンテスト』with “いいともあいち”」入選



親子丼に大豆製品の八丁味噌、あげを使用した「親子&兄弟丼」

昨年6月に開催された「第17回食育推進全国大会inあいち」内の関連企画「『食育レシポコンテスト』with“いいともあいち”」にて、健康栄養学科3年生の高倉夢羽さん、富田桃佳さん、中澤れいあさんによるチーム「じぇりーふいつしゅ」が、のだみそ株式会社様の八丁味噌とコラボして作成した「親子&兄弟丼」が入選しました。これからも献立作成に力を入れて、愛知県の地産地消に貢献していきたいと思えます。(片山直美教授)

文学部 児童教育学科

名古屋女子大学ハンドベルクラウンズ
(音楽教育・表現ゼミ)のクリスマスコンサート



12月12日愛知県芸術劇場コンサートホールにて
ハンドベルクラウンズ17名

名 古屋女子大学ハンドベルチームとして、音楽教育・表現ゼミの学生がコンサート、児童館、保育園、図書館等でのクリスマス関連行事にボランティア参加しました。12月16日、大学図書館おはなし会との共同催事「音でつづるクリスマス ～おはなしとハンドベルのつどい～」では、親子連れ、一般の方が多く参加され、おはなしとハンドベルの天使の響きに心癒やされるひと時となりました。学生にとっても現場を見据えた貴重な体験となりました。(坪井眞里子教授)

文学部 児童教育学科

「実践課題研究」でのアクティブ・ラーニングの取り組み



自信を持ってプレゼン技術を披露する様子



研究に関心を示す学生の熱心な姿

見 児童教育学科2年生が「実践課題研究I」でSDGsポスターセッションを行い、2030年までに目指す持続可能な開発目標に取り組みました。各学生は17の目標から1つを選び、A0サイズのポスターで調査結果や考察をまとめ、発表しました。視覚的な工夫と質疑応答を通じ、SDGsについての学びを深めました。この授業は学科独自科目として、研究能力とプレゼンテーション技術の向上、また模擬授業・模擬保育、そして教育・保育実習への準備を目的としています。「実践課題研究I」では他に教室ディベートを実施するほか、「実践課題研究II」では60分のプレゼンを通じて高度なスキルを養います。これらアクティブ・ラーニングの実践は、学生たちが将来の教育者・保育者として必要なスキルを実践的かつ総合的に身につける機会を提供しています。(佐々木基裕講師)

家政学部 生活環境学科

大学祭模擬店『Vintage Store』
～服の交換会～



様々な方が『Vintage Store』へ

私 たちの生活の中で「着られるけど着ない服を循環させる」SDGsに繋がるとして、生活環境学科3年有志が大学祭模擬店『Vintage Store』を出店し、服の交換会に挑戦しました。株式会社ワンピース様の協賛と自主回収で100着準備し、当日の持ち込み26着、引き取られた服は77着でした。参加学生からは、「幅広い年齢層の方に来ていただいた」「服の交換会を多くの人に知ってもらえた」など喜びの声が聞かれました。(小町谷寿子教授)

家政学部 生活環境学科

JIA建築家大会2023東海in常滑
「まちづくりワークショップ」に学生が参加



ワークショップにて専門家と市民をつなぐ様子

生 活環境学科建築設計・まちづくりゼミの学生が11月9日に実施されたJIA建築家大会2023東海in常滑「まちづくりワークショップ」に参加しました。全国から集まった建築家と常滑の市民、行政職員が一緒にまち歩きを行い、まちの資源と問題点を発見し、提案をするワークショップです。大学による空き家のカフェへの活用提案などを行い、専門家と住民をつなぐ重要な役割として運営に協力し、貢献しました。(松村哲志講師)

家政学部 生活環境学科

中学生対象の「エシカル」を使った消費者教育実践



「エシカル」取りの様子

生 活環境学科3・4年生の教職履修者17名が、12月1日に名古屋市内の中学校でエシカル消費を推進する消費者教育を行いました。学生が各クラスに分かれて「総合的な学習の時間」の授業で自作した「エシカル」を用い、持続可能な社会の取り組みを考える実践をしました。中学生からは「身近でできることを見直したい」等の感想があり、大学生は教えることの楽しさや難しさを実感した外部連携授業となりました。(三宅元子教授)

短期大学部 生活学科

ITパスポート試験、秘書検定、
簿記検定等に続々合格

「ITパスポート試験」合格証書を手に

I Tパスポート試験は経済産業省が認定する国家試験で、実務経験のない学生には難易度の高い内容です。短期大学部生活学科では、この2年間で合計6名が見事合格しました。令和4年度よりカリキュラムを一新し、情報領域の関連科目による積極的な学修支援を行った結果です。また秘書検定、サービス接客検定、簿記検定など、ビジネス系の資格取得も相次いでいます。今後さらに教育体制を充実していきます。(森屋裕治准教授)

短期大学部 生活学科

生活学科学生の作品発表会



2年生 主体的学修講座作品



1年生 授業課題作品(スーツ)

1月29日、生活学科の学生による作品発表会を学内施設で開催しました。1・2年生の実習授業、2年生の主体的学修講座、学外コンテストに入選した作品など、学生がモデルとなってファッションショー形式で発表しました。2年生の作品は、主体的学修講座で取り組んだ「憧れのデザインの再現または古着のリメイク」をテーマに制作した作品15点、さらに、実習授業課題のコートとウエディングドレス、コンテスト作品など12点を発表しました。1年生が制作したスーツは、デザインとパターン作成から取り組み、被服について学んだ知識と技術の成長が見て取れました。2年生の作品は、これまでの学びを結集した個性溢れる力作が発表されました。学生たちには、この経験を通して、一つの事をやり遂げる喜びを感じてもらえたのではないかと思います。(小田久美子准教授)

短期大学部 生活学科

マックスバリュ東海の
YouTubeチャンネルでコラボレシピを紹介

動画撮影の様子・動画の二次元バーコード

生活学科ではマックスバリュ東海とレシピ開発を行っています。毎年、テーマに合わせたレシピカードを発行しています。マックスバリュ東海のYouTubeチャンネル「ちゃんとはんONLINE-STUDIO」の運営にも協力しており、今年度も学生がゲストとして動画に出演し、れんこんレシピを紹介しました。学生は緊張しながらも楽しく撮影に臨んでいます。動画は、11月7日から配信されています。(阪野朋子准教授)

短期大学部 保育学科

「スポーティブ・ライフin瑞穂」参加



ボランティア活動の中で、本学で学んだ知識を発揮

福祉マインドを備えた保育者養成としてボランティア活動を推進し、名古屋市主催「スポーティブ・ライフ」に参画しました。専門科目から学んだ知識や、子どもとの関わり方を実践できる貴重な機会です。「身近なものを活かした遊び場」をテーマにボウリングや的当て、制作(紙コップロケット、ブンブンゴマ、紙皿楽器)の場面を創作し、子どもとの遊びを通じた関わりから、保育者に必要な対応力を学びました。(藤巻裕昌講師)

短期大学部 保育学科

「じぶんみらい保育園瑞穂通」
との交流

子どもとゲームを楽しむ学生たち

11月13日、保育学科第三部2年生4名が、0歳から2歳児が在園する小規模型保育所「じぶんみらい保育園瑞穂通」へ行き、子どもたちとの交流を行いました。子どもたちが楽しく参加できるように、子どもの発達を考慮して、歌遊びやゲーム、絵本の読み聞かせを考えて実践しました。子どもたちに喜んでもらい、学生たちも満足な様子でした。これから行う保育実習の参考になったようです。(河合玲子教授)

クラブ活動

ダンスサークル 「Cherry Cheeks」の活動



大学祭で発表した際の様子

K-POPコピーダンスサークルのCherry Cheeksです。私たちは主に週1回活動をしており、一から自分たちで新しい曲の練習をするだけではなく、大学祭やオープンキャンパス、地域のイベント等での発表に向けて練習に取り組んでいます。特に大学祭は一番盛り上がるイベントで、K-POPグループに寄せた本格的な衣装を着てステージで踊ります。初心者・経験者問わず部員を募集しており、K-POPが好きの方、体を動かしたい方、どんな方でも大歓迎です。(部長 石川瑠華)

大学祭実行委員会

第72回 名女大祭開催



たくさんの方に見ていただいたステージ



毎年盛り上げる全員で踊る名女ダンス

第72回名女大祭のテーマは「ぱれっと」です。大学祭を通じて、一人ひとり持っている色は違い、それらが混ざり合うことによって自分自身の色が新しい色になり、新しい自分に出会うための一歩を踏み出す応援をしたい。そんな願いを込めてこのテーマにしました。今年にはコロナに関する規制のない開催で、両日たくさんの方に足を運んでいただきました。特に家族でご来場される方が多く、学内のいたる所から笑顔があふれているように感じました。雨が降ってきた時間帯もありましたが予定を変更することなくすべての日程を終了することができました。一緒に頑張ってきた仲間と大学祭を作り上げることができてとても嬉しく感じております。大学祭開催にあたって、ご協力、ご支援いただきました関係者の皆様に心より感謝いたします。
(大学祭実行委員会委員長 渡邊杏里紗)

入試広報課

瑞陵高生の図書館利用



図書館内を見学する瑞陵高校の生徒の皆さん

高大連携事業の一環で、愛知県立瑞陵高校食物科の生徒の皆さんに本学図書館を開放することとなり、12月中旬に1・2年生向けのオリエンテーションが開かれました。両学年合わせて80人が参加。オリエンテーションの前には、同校出身の健康栄養学科学学生・技術職員による説明つきの学食体験や施設見学を実施しました。充実した時間となり、さっそくその日の放課後から図書館利用がありました。

学生支援センター キャリア支援オフィス

公務員志望者のための勉強会



自治体の資料に取り組む学生たち

一般企業の採用早期化に併せ、自治体の試験時期も昨年より2か月程度早まりました。このため3年次の後期開講とともに受験準備を開始する必要に迫られることとなり、学生への大きな負担となっています。キャリア支援オフィスでは、この時期を皆で乗り越えようと頑張る勉強会が朝活などを利用して開かれています。今後は1・2年生にも参加を促し、一人でも多くの笑顔を目指していきます。

学術情報センター

図書館サポーター ～他大学サポーターとの交流会を開催～



サポーター学生交流会の様子

9月14日に東海地区大学図書館協議会主催「学生協働フェスタin東海」が金城学院大学で開催されました。同催事は2017年より地区大学の図書館サポーター交流の場として開催されてきましたが、コロナ禍のため対面での開催を中止しており、今回4年ぶりに学生が会して開かれました。当日はグループに分かれゲームをしたり、各大学の活動をポスターセッションで紹介したりと交流を深め、今後の取り組みに大いに刺激を得る機会となりました。

活動紹介

法人本部

産学連携推進センター主催

「ヘルスケア研究所開設記念講演会」の開催

本法人は産学連携の本格的推進を目的としてヘルスケア研究所を開設し、記念講演会を開催しました。

ヘルスケア研究所の開設について

10月27日、産学連携推進センターでは「ヘルスケア研究所開設記念講演会」を開催しました。ヘルスケア研究所は、認知症研究の第一人者である杉本八郎氏（同志社大学名誉教授・エーザイ株式会社創業第一研究所元所長）を所長に迎え、本法人に今年度開設しました。講演会冒頭、越原もゆる理事長から「少子超高齢社会が進展する中、本学の専門領域でも認知症に関わる研究が不可欠であり、今後の教育・研究に役立てるため積極的に産学連携に取り組んでいく」との方針が示されました。杉本八郎所長からは「人間の幸福の土台を支える健康について研究し、その成果を世のため、人のために活かすことが設立目的であり、今後の方針としては、産学連携を主軸とした活動を行い、講演活動を通して認知症予防を広めるなど、地域連携型研究を進めていく」との概要説明がありました。



駒田格知名誉教授講演



杉本八郎所長による基調講演

ヘルスケア研究所 杉本八郎所長 基調講演

基調講演として、杉本八郎所長から「人生100年時代をどう生きるか？」〜認知症予防の観点から〜と題し、お話をいただきました。三大認知症（アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症）の中で最も患者数が多いアルツハイマー病の世界初治療薬「アリセプト」の開発秘話に加え、認知症予防には生活習慣の見直しが効果的であることから、どのような生活習慣や食習慣が認知症予防に繋がるのかなどのお話も伺いました。

駒田格知名誉教授・ 久保金弥健康科学部長 講演

元生活学研究科長の駒田格知名誉教授からは、ヘルスケア研究所設立に当たり、本学の学問的伝統は家政、いわゆる食生活を中心にヒトの一生の健康に関わる領域（栄養・幼児教育・看護・リハビリ等）にあることから、同研究所は本学の最適なる研究基盤の上に設立されること

お話がありました。

久保金弥健康科学部長からは「よく噛むことで認知症を予防する」と題し、ヒトを対象とした研究や動物実験などから、歯を失うことが認知症を引き起こすアルツハイマー病の発症リスクを高めること、また、よく噛むことで、認知機能に関与する脳部位が活性化され、認知機能維持に繋がるなどの解説がありました。

講演終了後、参加者からは、各専門分野で研究が深められることへの期待のほか、「認知症の研究に役立つことがあれば是非協力したい」との声も聞かれました。



久保金弥健康科学部長

活動紹介

学生参加型地域貢献活動 「名女健康サロン」の開催

本学の特色を活かし、多職種協働の実践を目指す地域貢献活動「名女健康サロン」を開催しました。

「名女健康サロン」とは

「名女健康サロン」とは、健康科学部、医療科学部が合同で行う、地域の方の健康に対する意識向上や生きがいの支援を目指す地域貢献活動です。各専門分野の教員による講義の他、実習や茶話会など様々な内容で行われます。学生も企画運営に携わり、年代の異なる方々との交流を通じてコミュニケーション力を養うとともに地域が抱える健康問題を解決する実践力を磨く場となっています。今年度は「今日からフレイル予防で介護予防 ver. 2023」をテーマに、10月から2月にかけて、次のような内容で実施されました。

理学療法学科 学生とバランス能力測定

学生による参加者のバランス能力測定と結果の解説を実施し、その後、屋外で学生が考案した「バランスがよくなる体操」を行いました。参加者、学生、教員総勢80名が参加し、青空の下、気持ちよく賑やかに運動をしました。



学生と認知症予防の活動を体験(作業療法学科)



学生とバランス能力測定(理学療法学科)

作業療法学科 認知症予防につながる活動体験

参加者の体力チェックの後、体力保持と認知症予防についてのミニレクチャーを実施しました。学生が企画した茶話会では、簡単なゲームを交えた認知症予防につながる活動を行いました。

看護学科 フレイル予防の健康チェック

看護学科学学生が主体となり、前半は歩行測定、血圧測定、骨密度測定等の健康チェックや脳トレーニングを行いました。後半は教員による「歩行時のバランスと姿勢で気をつけること」の講義もあり、若さを保つための正しい歩き方を学びました。

健康栄養学科 ミニ栄養講座・学生と調理実習

フレイル予防に必要な栄養の摂取についてのミニ栄養講座の後、調理実習室で学生と簡単なおやつを作って食べ、食事を共にすることの楽しさと健康維持に必要な食事について理解を深めました。



学生と調理実習(健康栄養学科)



学生が骨密度を測定(健康栄養学科・看護学科)

地域の皆様からは「元気の学生さんと一緒に活動できて楽しかった」などの感想をいただきました。今後は本学の特長を活かし、異なる分野が融合した地域貢献活動を一層推進するとともに、学生にとっては分野を超えた幅広い知識の習得、多職種協働の実践力養成の場としてまいります。

名古屋女子大学高等学校

高校生徒の近況

2学期に入り、9月15、16日の両日、文化祭が開催されました。今年は、4年ぶりに一般公開が復活し、一般来場者も2,192名と大盛況の内に終えることができました。

次いで10月3日からの中間試験、18日の後期生徒会役員立会演説会を挟んで、26日から3泊4日で、高2・貫5年生の修学旅行が実施されました。この4年間、コロナ禍で行動が制限され、中止になったり行き先を変更したりしてきましたが、ようやく本来の沖縄での実施が叶い、生徒たちも大いに非日常を満喫できた修学旅行となりました。

11月に入ると、休む間もなく8日には漢字コンテスト、27日からは期末試験と、生徒たちは勉強にも真剣に取り組んでいました。

12月には、インフルエンザが猛威を振るう中で臨時休校もありましたが、冬休み以降も、自主的に冬期講習に



修学旅行―“守礼門”に向かってジャンプ!!

参加したり、新体操部が発表会を開催したり、多くの高3生が大学入学共通テストにチャレンジしたりと、充実のスクールライフを継続中です。

名古屋女子大学中学校

中高一貫生の充実した学校生活



学問探究合宿 宮島にて

今年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校行事はコロナ禍以前の状態に戻して実施しました。後期は10月11日に思春期セミナー、10月18日に後期生徒会立会演説会、11月8日に漢字コンテストが行われました。

また、コロナ禍前には東京方面で行っていましたが、コロナ禍前は東京方面で行っていましたが、コロナ禍前は東京方面で行って先や行程を大きく変更し10月25〜27日に実施しました。行き先は広島平和記念公園での平和学習、宮島散策、厳島神社見学、女子大学生の案内による神戸市内観光、神戸港デザインクルーズ、ユニバーサルスタジオ・ジャパンなどでした。2泊3日の行程でありましたが、幸いにも天候に恵まれ、楽しい旅行になりました。3年生にとつては本校に入学して初めての宿泊行事となり、中学時代の良き思い出のひとつになったと思います。1月からはカルタ取り大会、英単語コンテスト、学年末試験、終業式、修了式、立志式が予定されており、1年の締めくくりの行事が控えています。

名古屋女子大学付属幼稚園

カホンの演奏会を通じて

2学期終わりに、本学卒業生で「カホン」の演奏者として活躍されている加藤めぐみさんに来ていただき、演奏会を実施していただきました。今回は、シンガーソングライターの京夏さんとのコラボとして歌と演奏を楽しみました。

カホンは、ペルー発祥の打楽器で、打ち方によって様々な音に変化する魅力のある楽器です。当日は、めぐみさんから、言葉に合わせてリズムの取り方を指導していただき、その後、実際に一人ずつカホンの上に座り、音楽に合わせて両手でリズム打ちをしました。カホンは、演奏方法はシンプルですが、出る音に変化があり子ども達もその魅力を十分に楽しむ経験となりました。また、京夏さんの美しい歌声に合わせて一緒に口ずさむ様子もあり、音楽の楽しさを満喫した演奏会になったと思われま。



めぐみさんと一緒に、カホンを演奏

今回の本物の音楽に触れる体験は、聴くだけでなく、音の表現を感じながら、共に心動かされる感動をあじわえる貴重な機会になりました。

学園の回想

第38回

生涯の学びで 自他共の幸福へ



音楽教室時代 卒業式の日、今は亡き母と下宿先の玄関前で

親元を離れ、全く土地勘のない初めての地である名古屋の我が名古屋女子大学に、縁あって入学させて頂きました。幸い同じ高校の友人と共に、名女大から紹介して頂いたご夫妻が住まわられている離れの一室に下宿させて頂き、安心して通うことができました。

専攻の児童教育を学ぶための4年間でしたが、越原春子先生のお心を受け継ぐ、親切の心は、私の人生の骨格となっております。

高校までは吹奏楽、合唱部等文化音楽に親しんだのですが、大学では卓球同好会に所属し初めての試合参戦、他大学の方々と交流も経験しました。

教育原理、教育心理学も大変興味深く、中でも湯川隆子先生の講義は魅力的で毎回楽しみでありました。越原での楽しい合宿、太白学舎に通ったことも良き思い出です。

大学進学前、声楽やピアノを学んでいた私は、音楽大学への進学も考えていた時期があったこともあり、悩んだ末、郷里の岡山の公的機関で少し仕事をした後に、音楽教室の講師となり

ました。主に幼児から小学生を中心に子どもさん方と関わらせて頂く中、ピアノの練習の後に楽しく一緒に歌を歌ったり楽典学習をする際にも、大学で学んだ教育が大いに活かされていたと思います。

結婚と同時に岡山から東京に住み始め、春光会関東支部の活動を知り参加させて頂くこととなり、この二十数年、同窓生の会を通してたくさんの素晴らしい先輩方と繋がらせて頂きました。春光会活動に初めて参加した時まだ幼かった娘も社会に巣立ち家庭を持ち、現在私は地域の町会長の推薦を頂き、東京都豊島区で地域の見守り役である民生児童委員をさせて頂いています。

人はかけがえない尊い人生をその人なりに幸福を求め生きがいを持って生きていらつしゃいます。しかし、現実社会の中では生きていく上での様々な困難や問題があり、支援が必要な方もいらつしゃいます。生きづらさを抱え、一人で悩んでいたりと大変な状況に置かれている方を見つけ、見守つていく一人



在間昌子 さん
(春光会関東支部長)

大学12回(昭和54年3月卒)
家政学部児童学科児童教育専攻

になっていきたいと思いい、このお役を引き受けて頂きました。この数年間は学びの連続で、ひきこもり、ゲートキーパー、ヤングケアラー、ひとり親支援、障害者支援、認知症高齢者フレイル予防、健康栄養指導、また外国人居住者が多い区としてやさしい日本語の使い方等々、多くの講習を受ける機会がありました。

学びは人の役に立つてこそ生かされる。大学で学んだことも人生で学んだことも、そしてこれからも、生涯この姿勢は続けていきたいです。

私は人と会うことが大好きで人との関わりの中で自身も磨かれていくと思つています。未来を生き、未来を託されている学生の皆様にもお勧めです。

世界は今、気候変動による災害や悲しい戦争が続いています。しかし自分が一歩行動を起こし、目の前の一人を大切にすることで、必ず平和な社会、平和な世界を築いてゆけると信じています。希望を抱いて今日一日を大切に生きていきたいと思ひます。

古文書・古書への招待

vol.44

短期大学部 教授 遠山佳治

今回紹介する「女性の実質的開放を期す」色紙は、本学創設者越原春子先生が、昭和二年（一九四六）、衆議院議員の時に記したものです。

昭和二〇年、衆議院議員選挙法が改正公布され、日本で初めて婦人参政権が実現しました。遡ること、大正五年（一九一六）には、春子先生は発起人の一人として婦人問題研究会を設立し、婦人の社会的地位の向上、家庭生活の合理化、女子教育機関の拡充など女性の問題に取り組んで来ました。このような活動を進めて来た春子先生は、周囲の勧めもあり、衆議院議員への出馬を決意しました。そして、全国での女性議員三九人の一人、愛知県では唯一の女性の衆議院議員に当選しました。

選挙終了とともに「読売報知」新聞が、公的実行と題するシリーズの掲載を始め、春子先生は「私は女性の実質的解放のために断じて戦います」と誓っています。そして、憲法改正案委員会が実質審議を始め、春子先生は、母と子どもたちの生活圏の保障、保育（託児所・教育（幼稚園）を二元的に統一することなどを提案しました。



「女性の実質的開放を期す」色紙

委員室に活けられたカーネーションの花を見て、「憲法のしんぎの席につらなりて かあねいしよんの花をみるが嬉しき」と詠まれました。その短歌は、現在も中庭の碑に刻まれ、今も学生たちを見守っています。

EVENT INFORMATION

越原記念館 企画展

入場無料

学生作品選抜展2024

令和6年3月9日(土)～8月11日(日)
越原記念館 第3展覧室



企画展ポスター

美の芽を出し、新たなステージに旅立つ学生たちです。

暮らしを彩る生活環境の創造へ学生一人ひとりが自らの心と向きあった結晶…建築、工芸、インテリアデザイン、服飾デザイン、美術教育教材、情報教育教材など多彩な分野から、力強く個性に満ちた学生たちのメッセージをお届けします。

※3月9日(土)・6月1日(土)・7月13日(土)・14日(日)・8月10日(土)・11日(日)はオープンキャンパスのため開館。夏期一斉特別休日[8/12(月)～16(金)]は閉館。

越原記念館(名古屋女子大学内)
開館時間/10:00～17:00
休館日/土・日・祝日・学園休業日

越原記念館 関連行事

参加無料

体験イベント

—肌色チェックからはじめる、
パーソナルカラーを体験しよう!—

令和6年3月9日(土) 13:00～15:00
越原記念館 1階ロビー

オシャレの基本は似合う色を知ることです。ご自身の肌色を測定し、パーソナルカラーを体験しましょう!

※当日13時より申込先着15名・所要時間はお一人20分程度。※当日の体験イベントの実施有無につきましては、当館HP・代表電話等でご確認ください。

卒業式のご案内

[大学院・大学・短大合同] 令和5年度卒業式

令和6年3月18日(月) 10:00～11:00

学校法人越原学園 体育館

会場 名古屋市瑞穂区萩山町1-54-1
地下鉄桜通線「瑞穂区役所」下車(徒歩15分)

※卒業式に参列される付き添いの方は、開式10分前までに体育館へお越しください。※駐車場の用意はありませんので、公共交通機関をご利用ください。※最新の情報につきましては、本学HPでご確認ください。

BOOK INTRODUCTION

本学教員の著書の案内

図解 理学療法検査・測定ガイド
第3版

松井一久 分担執筆



本書は医療面接、神経学的検査、整形外科的検査など理学療法士が行う検査・測定の手順、ピットホール、所見の判定について書かれた医学書です。

(文光堂)

標準作業療法学
日常生活活動・社会生活行為学 第2版

山鹿隆義 分担執筆



本書は、生活支援の理論と実践に焦点を当て、対象者の日常生活と社会生活の満足度を向上させる作業療法の基本を、学際的視点で学習できる教科書です。

(医学書院)

実践事例を通して具体的ななかかわりを学ぶ
保育現場における特別支援

島澤ゆい 分担執筆



本書では39の実践事例を通して、障害ある子どもへのかかわりを学ぶことができます。二次元バーコードから動画へアクセスできて、視覚的にもわかりやすくなっています。(教育情報出版)